

こころん通信

第 24号

平成 23 年 1 月発行

発行者:NPO法人こころん(生活支援センターこころん)

〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字下根岸 9

TEL:0248-54-1115 FAX:0248-53-3063

MAIL:kokoron@r2.dion.ne.jp

ホームページ <http://www.cocoron.or.jp>

迎春

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には御清適御精勤の事と存じあげます。常日頃、NPO 法人こころんの活動趣旨に御理解、御協力賜り感謝、御礼申し上げます。

昨年来、社会福祉法人化に関して、度重なる県の指導の下、申請書類等などを県に上げ、県の認可を今か今かと首を長くして待機しているところです。

十二月にはこころんに加工所の建設が許可・予算化され、すでに工事がはじまりました。食品加工の拡充が期待されますが、生産・加工・販売の工程を実あるものにつくり上げて行かなくてはなりません。

また様々な創意工夫も欠かすことが出来ません。皆様の更なるご支援、ご指導をお願い申し上げます。

昨年の新型インフルエンザ流行時にも世の中を騒然とさせた、高病性トリインフルエンザ(H5N1)が今年も渡り鳥から検出されており、これによる災の及ばないことを願っています。

本年は、しなやかに躍ねる一年になることを念じるものです。

NPO 法人こころん理事長 関 元行



生活支援センターこころんでは 12 月 28 日、もちつき大会を開催しました。

みんなが交替でべったんべったん。粘り強くついたおかげか、とろーり美味しいお餅ができました。

目次

P1・・・新年のご挨拶

P2・・・このごろのこころや

新そばまつり / にこにこ屋 3 周年

P3・・・第 6 回こころんアート展 / クリスマス交流会

P4・・・行事予定

このごろの

直営カフェ
こころや

こころや新そばまつり

11月28日、こころやで新そばまつりが開かれ、予想を上回る来場者で店内は大賑わいとなりました。

午前10時に始まったソバ打ち実演の会場は、こころやのカフェ。来客は屋外に設置されたテーブル席にもあふれ、その様子を見たメンバーの一人が「こんなに来るとは思わなかった」と驚くほど会場は熱気につつまれました。

生活支援センターこころんでは、毎年11月にそばうち教室を開催しています。長年の修行の成果を、初めてこころやで披露することができました。これから毎年こころや恒例のイベントに育っていくような予感がします。



蕎麦はつなぎ1、
ソバ粉9の一九蕎麦。
のどごしツルツル！

「one for all」・「all for one」

大、大成功で幕を閉じた「こころや新そばまつり」月日の経つのは早いもので、あれから2ヶ月経過した。あの感動をもう一度思い起こしてみたい。

なぜだか我輩がそば打ちの実演をすることになってしまい、当日朝3時に起床し60食を作って、こころやに持参してお客様の前で60食を作ってしまった。

これが全て完売。メンバーのHさんに「接客」、Yさんに「練り」を依頼して、この3人の歯車が上手くかみ合い、調理チームの協力もあって大、大成功・120食をお客様に提供できた。

そばを打ち終わった後に「ひとりはおみんなのために」「みんなはひとりのために」この言葉を深く噛み締めた。(グッさん)

にこにこ屋は3周年目に突入！

白河駅周辺の地域活性化をめざしてはじめられた「チャレンジショップにこにこ屋」のオープン3周年記念イベントが12月16日に開催され、開店前から大勢の来客でにぎわいました。店内では甘酒がふるまわれ、クジ引きに“当たり”が出るたび大きな歓声につつまれました。

来店者の多くは地元の皆さん。買い物はもちろんメンバーたちとのコミュニケーションを楽しみに店を訪れるとの事です。この日、常連さんのひとり「毎週木曜日が楽しみ」としながら、スタッフからかぼちゃや里芋の保存方法などについてのアドバイスをうけていました。

メンバーたちの接客はとても明るく、中でもいつも静かなタカユキさんも「エコバックはお持ちですか、ありがとうございます」と元気よく声をだし、特に自分たちで育てたベビーリーフを積極的にアピールする姿がとても印象的でした。



にこにこ屋でがんばっています

にこにこ屋は、毎週木曜日のみ開店という限られた営業日にもかかわらず、毎週たくさんのお客さまが足を運んでくれることがとても嬉しくやりがいを感じています。

そんなににこにこ屋も3周年を迎えることができました。3周年セールには、寒さの厳しい中でしたが、予想以上のにぎわいに正直ビックリしました。

にこにこ屋で働き始めて5ヶ月で、まだ仕事に慣れない自分はその場をこなすので精一杯でしたが、周囲のサポートもあり無事終えることができました。ありがとうございます。

今年も1月6日から初売りを行い、売上も少しずつ伸びつつあります。まだまだ発展途上の段階ではありますが、向上心をもってみんなで盛り上げていけたら良いなと思っています。

2月11日(金)のだるま市も開店する予定です。足を運ばれた際には、是非お店にお立ち寄り下さい。皆さまのご来店をお待ちしています。(koji)

Cocoron's Charity Art Bazaar

第6回 こころん

チャリティーアート展

昨年 11 月 20 日・21 日、生活支援センターこころんで、第 6 回こころんチャリティアート展が開催されました。開催が 11 月下旬ということもあり、天候を心配していましたが、2 日間とも天候に恵まれ、無事に開催されました。



今回のアート展は、こころんまつりに引き続き利用者が中心となって企画・運営しようとの趣旨でした。いろいろと不安は有りましたが、事前準備から終了まで、大きな混乱もなくスムーズに進める事ができました。

少し残念な点は、昨年と比べると出展者数や来場者が少なかったことです。しかし、飾られた作品はどれも素晴らしい作品で、自分個人としては良い意味でかなり刺激を受けた 2 日間でした。

また今回私は、初参加で実行委員長というポジションで不安もありましたが、利用者やボランティア、スタッフ皆様の支えで、無事に役目を果たしたのかなぁ...と、ホッとしています。

最後に、出展者様、ボランティアの皆さま、ありがとうございました。(ひいろ)

クリスマス交流会 2010

「メリークリスマス！」かけ声にあわせてクラッカーが鳴り響く中、クリスマス交流会が 12 月 21 日、矢吹町福祉会館で開かれました。

主なプログラムは、あけぼの荘のコント「横綱土俵入り」、なごみの家の劇「ゲゲゲのゲ」、にこにこ屋の自主制作映画「いんちき水戸黄門」、生活支援センターこころんの「ダンス&合唱」などです。

映画で助さん役を演じた Y さんは「来年もにこにこ屋のパワーで、よりおもしろい作品を皆さんへお見せしたい」と話し、情熱的な踊りを披露したこころんダンサーズのリーダーの S さんは「わずか 5 時間の練習で仕上げた。」とメンバーを誉めたたえました。

閉会挨拶の中、実行委員を務めたメンバーは「とても楽しく良い経験になった」「(交流会を通じて)皆さんの心がだんだんひとつになっていくのが感じられた」などと感想を述べました。また、前半の司会で会場を盛り上げたなごみの家の T さんも「もっともっと“マイク役”に立ち向かう強さを身につけ、是非、またチャレンジをしたい」と今後への抱負を語りました。



こころんダンサーズ デビュー!

今回、クリスマス交流会に初めて参加しました。

“KARA”、~カラ~という韓国女性ユニットの今年大ヒットした曲をスタッフ&こころんメンバー 5 人でダンスを覚えステージで披露することになりました。

生まれて初めてのダンスでいろいろと不安だらけでしたが、みんな超ノリ×2で笑いのたえない練習で超楽しかったです。

もちろん本番は大成功! 笑い拍手の中終わりました。



何かひとつの事に心を一つにしてやり遂げると素晴らしいと実感しました。

(M・K)



寄付・寄贈をいただいた方 (敬称省略・順不同)

大木代吉本店 吉田タカオ

会員募集について

NPO 法人ころんでは、ご支援くださる個人や団体の方を正会員や賛助会員として、会員を募集してきました。既報のように、社会福祉法人化した後は会員としての組織はなくなりますが、今まで通り広報などのお知らせはお送りいたします。

ころんとしましては、長年会員としてご支援いただいている現在の会員のみなさまには、ぜひとも何らかの形で、ころんへのご支援をお願いしたいと考えております。

本年も何卒よろしくお願いたします。(NPO 法人事務局)

お知らせ



活動報告

- 10月17日 第6回ころんまつり
会場: 泉崎村保健福祉総合センター
- 10月26日 就業セミナー
- 11月18日 地域清掃活動
- 11月20・21日ころんチャリティアート展
- 12月16日 にこにこ屋3周年セール
- 12月21日 クリスマス交流会
- 12月28日 もちつき大会
- 1月6日 ころんや・にこにこ屋 初売り



今後の予定

- 1月25日 就業セミナー
未来予想図2011
- 1月30日 ころんや
相馬漁港店頭販売会
- 2月5日 働く喜びを上げようセミナー
(郡山総合福祉センター)
- 2月11日 白河だるま市
(なごみの家、にこにこ屋が出店)
- 2月15日 就業セミナー
観光接客サービス研修会参加
- 2月26・27日 ころんや いちごまつり
(フリーマーケット同時開催:26日のみ)

編集後記

生活支援センターころんの増築工事が始まりました。

雪が降る中、工事を続ける作業員の皆さんの姿を見ていると、すべてのものは、誰かの汗で成り立っているのだと実感します。

4月には新しい食品加工所と作業室が完成します。これからころんのみんなで、どんな汗や涙？を流し、どんなものを作りだしていくのでしょうか。

春が待ち遠しいです。(植木)



北海道・東北地区ブロックセミナー

(厚生労働省委託事業 平成22年度働く精神障害者からのメッセージ発信事業)

働く喜びを上げよう

～当事者からのメッセージ～

セミナー

平成23年2月5日(土)

交流会

10:30～16:30

郡山市総合福祉センター5F

福島県郡山市朝日1丁目29-9

2月5日(土) 18:00～20:00

スターホテル郡山(はなの舞)

福島県郡山市長者3丁目5-6

問い合わせ先「働く喜びを上げよう」北海道・東北ブロックセミナー事務局：NPO法人ころん
〒961-0101 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字下根岸9 TEL：0248-54-1115 FAX：0248-53-3063